



中央ユーラシアにおける東西交流

ー遺伝学と歴史・民族学の視点から

中央ユーラシアはシルクロードの時代から東西交易が行われ、人、モノ、情報の交流が盛んでした。日本はその東の終点にあり、その恩恵を長く享受してきました。2014年に中国が一带一路構想を打ち出して以来、経済圏としての中央ユーラシアを歴史的な東西交流にどのように重ね合わせるかが、再び注目されています。この地域での交流は、歴史的に交易経済をもとにしたゆるやかな地域紐帯、多様な宗教の共存という形であったことを再考し、今日のような一極支配型の現状に一石を投じたいと思います。遺伝子からみた人類の交流と移動の歴史を斎藤氏から、中央ユーラシアの文化的、宗教的な交流と帝国の歴史について大野氏からご講演いただきます。

日時 2020年11月12日（木）13:00～14:30

講演
テーマ

①『DNAから人間とラクダの移動を考える』

②『中央ユーラシアにおける文明史的興亡ーウズベキスタンからの視点』

講師

①斎藤 成也 / 国立遺伝学研究所・教授

②大野 旭 / 静岡大学人文社会学部・教授、アジア研究センター長

コーディネータ 今村 薫 / 名古屋学院大学現代社会学部・教授

主催 名古屋学院大学、中央ユーラシア歴史生態学研究会